



八戸七夕まつり

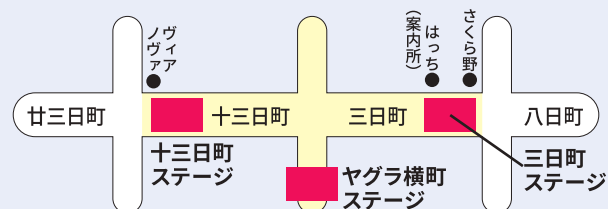
第74回八戸七夕まつりが、7月17日から19日までの3日間、八戸市中心商店街で開催されます。色鮮やかな七夕やぐらやストリート飾りが街を彩り、初日には恒例の「八戸小唄流し踊り」も実施予定です。さらに、はっちやマチニワでも七夕飾りや関連イベントが行われ、中心街全体が華やかな七夕ムードに包まれます。市民参加型の催しも多数企画され、世代を超えて楽しめる八戸の夏の風物詩として多くの来場者でにぎわいます。

八戸七夕まつり 〈場所〉
三日町(さくら野前)～十三日町(ヴィアノヴァ前)、ヤグラ横町

〈開催日・交通規制時間〉
7月17日(金) 17:00～21:00 東奥日報社主催八戸小唄流し踊りとの連携
7月18日(土) 18:00～21:00 高等教育機関によるイベント(予定)
7月19日(日) 18:00～21:00 高等教育機関によるイベント(予定)

〈実施事業(予定)〉
(1)七夕やぐら(大型協賛飾り)
(2)ストリート七夕飾り(小型協賛飾り・自主製作飾り)
(3)はっちひろば七夕飾り
(4)七夕ステージ・ストリートイベント

●主催/八戸商工会議所、(株)まちづくり八戸 ●主管/八戸商工会議所中心街委員会 ●後援(予定)/八戸市、八戸商店街連絡協議会
●協賛(予定)/八戸年中行事協賛会、(株)東奥日報社八戸支社 〈問合せ先〉八戸商工会議所地域振興課 ☎0178-20-9272 FAX 0178-46-2810 MAIL tanabata@8cci.or.jp



story 表紙のはなし

第34回 南郷サマージャズフェスティバル2026



夏の南郷を熱く盛り上げる恒例イベント「第34回南郷サマージャズフェスティバル2026」が開催されます。緑豊かな自然に囲まれた野外ステージに国内外のトップアーティストが集結し、ここでしか味わえない迫力のライブパフォーマンスを披露。青空から夕暮れ、そして星空へと移り変わる景色とともに楽しむジャズは格別です。会場を包み込む心地よい音楽と熱気に身を委ねれば、きっと特別な夏の思い出になるはず。前夜祭「南郷こどもジャズ2026」も開催され、世代を問わず楽しめる八戸の夏を代表する音楽イベントです。

7月25日(土) 開場12:30/開演15:30
チケット(税込) 一般/前売 7,500円(当日 8,000円)
ペア/前売 14,000円
高校生以下/無料

前夜祭「南郷こどもジャズ2026」
7月24日(金) 開場18:45/開演19:00
詳細はQRコードまたは八戸市ホームページをご確認ください。
八戸市公式サイト: <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/>



murmur つぶやき

主に看板を製作施工するお仕事をしています。最近お客様で多いのが「これAIに作ってもらったんだけど」と言ってデザインを持ち込みされる方です。見た目は悪くありません。でもよくよくお話を伺った時に、はたしてこのデザインの中にお客様の“想い”がどれだけ入っているのかな?と疑問に思うことがあります。

AIは言語データに基づく膨大な統計と文脈予測によって、「行間を読む」ような高度な推論を部分的にはするようです。「平均的で綺麗なものを」を瞬時に作ることは得意ですが、「言わなくてもわかるだろう」というような「空気を読む」ことはできないため、AIが読み取っているのはあくまで「確率的な傾向」に過ぎません。他社との差別化やあえての選択(泥臭さや独自性)を自分で判断することはできないので、「なぜか心が惹かれる」「あえてここで崩している」といった感覚的なディテールは生み出せないのです。

そこでAIにデザインを頼む時は、「目的」「ターゲット」「全体の雰囲気(テイスト)」「具体的な要素」の4つを明確に伝えることが重要です。ふんわりとした指示を避け、具体的に言語化することで精度の高いデザインが生成されます。「おしゃれに可愛く」といった抽象的な言葉は避け、具体的なデザインスタイルやキーワードを指定します。そして使いたいメインカラーや必ず入れたいキャッチコピーなどを箇条書きで指示します。テキストだけで伝えるのが難しい場合は、自分が理想とするデザインの画像などを添付し、「この画像のレイアウトや雰囲気を参考にしてください」と指示します。一度で完璧なものではできないため、「全体的に文字を大きくして」「色をもっと落ち着いたトーンにして」など、チャット形式で少しずつ修正を重ねるのがコツです。

というこの文章もかなりAIのお世話になりました(笑)。言語や数字は正しく理解してくれるので、上手に付き合えば大変便利で頼りになるアシスタントになります。

株式会社エーアンドエム 代表取締役 木村 美栄子

はちのへ法人会ニュース

やっほー

170

2026.07.00 発行



定時総会 □□□□□□□□□□□□□□□□

理事会 公益事業の拡充と会員増強方針を確認

経営者物語

屋根の下に、人が集まる会社を目指して
有限会社 工藤板金工業 専務取締役 市川恵子さん

公益事業の充実へ 令和8年度始動

6月17日、八戸プラザホテルで第14回定時総会を開催しました。総会に先立ち、加藤史禎八戸税務署長による講演「私がしてきた仕事からよもやま話」を実施。その後の総会では、令和7年度事業報告・収支決算、令和8年度事業計画・収支予算などを審議し、いずれも原案どおり承認されました。

また、会員増強に貢献した委員会・会員の表彰を行い、厚生委員会チームが団体の部で優勝。個人では川村義明氏、大塚智愛子氏が奨励賞を受賞しました。総会終了後には新会員歓迎交流会を開き、新たに入会した会員を歓迎しました。

令和8年度は、公益事業比率62.4%を計画し、税知識の普及や企業経営支援、地域社会への貢献活動など、公益社団法人としての役割を一層充実させていく方針です。また、会員増強を重要課題に位置付け、新たな会員の紹介や勧奨活動への協力を呼びかけて、組織のさらなる活性化を目指します。



横町俊明会長



加藤史禎八戸税務署長



加藤史禎八戸税務署長講演会



公益事業の拡充と 会員増強方針を確認

5月15日、プラザホテルで理事会を開催し、理事36名中24名が出席。議決に必要な過半数を満し、会が成立しました。審議では、定時総会への提出議案として、令和7年度の理事職務執行状況および収支決算について承認。7年度は一部事業の実施見合わせなどにより、公益事業費割合が52%と当初予定を下回ったことが報告され、次年度は一層の公益事業拡充を目指す方針を確認しました。また、会員増強については飯田和雄総務委員長が報告。7年度は新規入会52件と目標に迫った一方、退会増加により会員数は純減となったことから、退会抑制や再入会促進の必要性を共有しました。8年度は個人・法人合わせて60社の増強目標を掲げ、会員メリットの訴求強化などに取り組む方針です。

来賓挨拶では、八戸税務署の沢里真・法人課税第一部門統括国税調査官が、国税業務における内部事務センター化の進展などについて述べました。



横町 俊明 会長



飯田 和雄 総務委員長



沢里 真 八戸税務署法人課税第一部門統括国税調査官

地域に根差した活動方針を確認

5月27日、八戸パークホテルで青年部会（加藤範尚部会長）第32回通常総会を開催しました。令和7年度事業報告・収支決算、令和8年度事業計画・収支予算などを審議し、いずれも原案通り承認されました。

令和7年度は、小学校での租税教室をはじめ、税務研修会や県内外青年部会との交流事業などを実施。また、「税を考える週間」（11月）に合わせて税に関するクイズ大会を開催するなど、地域活性化につながる活動にも取り組みました。令和8年度も租税教育活動や地域交流事業を継続するほか、結婚サポート事業「はちのヘマジ婚」を年2回開催予定。部会員同士の交流を深めながら、地域に根差した活動を展開していく方針を確認しました。



加藤範尚 青年部会長



加藤史禎 八戸税務署長

30周年見据え新事業や交流会主管を承認

5月26日、八戸プラザホテルで女性部会（市川恵子部会長）第29回通常総会を開催。令和7年度事業報告・収支決算、令和8年度事業計画・収支予算などを審議し、いずれも原案通り承認されました。

総会挨拶では、市川部会長より、11月に例年開催している「税を考える週間」協賛事業の新たな取り組みとして「税に関する絵はがきコンクール」全作品を、ラビアに展示。11月14日（土）には八戸東高校書道部による書道パフォーマンス披露を同会場で企画。また、県女連協研修交流会（9月）を八戸法人会女性部会が主管となり八戸市で開催し、令和9年度の設立30周年に向け「八戸の女性のパワーを県内に発信したい」と抱負を語りました。来賓の加藤史禎八戸税務署長が祝辞を述べ、総会を締めくくりました。昼食後には、ボディバランスケアamon代表の小野美保氏による「女性経営者のための腸活講座」が行われ、経営者として日ごろの健康管理に役立てようと、部会員は熱心に耳を傾けました。



講師の小野美保氏



市川恵子 女性部会長



加藤史禎 八戸税務署長

五戸支部総会

五戸支部（川村義明支部長）は、5月12日アピル五戸で出席者76名（うち委任状出席者50名）にて通常総会を開催しました。第1号議案令和7年度事業報告並びに収支決算、第2号議案令和8年度事業計画並びに収支予算は、原案通り承認しました。



川村義明支部長

三戸支部総会

三戸支部（宇藤毅平支部長）は、6月4日バーデハウスで出席者71名（うち委任状出席者53名）にて通常総会を開催しました。第1号議案令和7年度事業報告並びに収支決算、第2号議案令和8年度事業計画並びに収支予算を原案通り承認しました。



宇藤毅平支部長



profile

1982年 中京学院大学 短期大学部卒業
八戸大学(現:八戸学院大学)入職
1990年 有限会社工藤板金工業入社
●●年 二級建築士資格取得
2020年 八戸法人会女性部会活動に参加
2025年 八戸法人会女性部会長就任

経営者物語

屋根の下に、
人が集まる会社を
目指して

有限会社 工藤板金工業
専務取締役

いちかわ けいこ
市川 恵子さん

子どもたちの
「この会社で働きたい」がゴール

「うちでは中途入社も多いし、事情を抱える社員もいます。だからこそ、仕事に誇りを持ってくれたら」

そう話すのは、有限会社工藤板金工業専務の市川恵子さんです。

屋根工事や外壁工事、建築板金工事を手がける同社は、60年以上にわたり地域の建物を支えてきました。学校や公共施設から一般住宅まで、携わる工事は年間300件以上。30代から70歳まで幅広い世代が働いています。

「屋根があれば人は集まる、人が集まれば世界が広がる」が企業理念。「屋根があれば人が集まる」は、創業者である市川さんの父の口癖です。続く言葉は経営陣と社員とが月1回の研修の場で話し合い、時間をかけて紡ぎ出しました。

近年は組織づくりにも力を入れており、研修を習慣化。昨年度は社員の年間目標立案に取り組み、会社から与えられた目標ではなく、一人ひとりが自分の言葉で考え、発信する機会を設



工藤社長と市川専務

けました。また、見積書や施工写真の管理など、社内のDX化も推進しています。

「学校や公共施設の屋根を工事した時なんかは特に、『あの屋根はお父さんが作ったんだって自慢しなさい』って社員に言うんです」と笑う市川さん。

社員の子どもたちが、「この会社で働きたい」と思ってくれること。それが、市川さんらの目指す会社の姿です。

一方で、障がい者雇用にも取り組んでいます。清掃や部材の仕分け、検品など、それぞれの特性を生かした仕事を担当。社有地では夏野菜の栽培や無人販売にも挑戦しています。畑づくりや販売を通して、「もっと稼ぐにはどうしたらいいんだろう」と自分たちなりに考える姿も見られるようになったといいます。市川さんは、そうした変化に手応えを感じています。

会社の歩みとともに育った
長女として

工藤板金工業は1962年(昭和37年)創業。創業者である工藤幸雄さんは、中学校卒業後に板金職人として修業を積み、20歳で独立しました。30歳を前に八戸市売市へ最初の社屋を構え、現在地に新社屋を完成させたのは50歳の頃。

工藤家の長女として生まれた市川さ



人気商品のコンテナハウス

んは、そんな会社の歩みをすぐそばで見ながら育ちます。幼い頃から職人たちが出入りし、材料が運び込まれる風景が日常にあったといいます。

「父も母も現場に出ていたので、仕事が生活の一部みたいな感じでした」
学生時代はスピードスケートに打ち込み、小学校から短大まで競技を継続。卒業後は大学で学校事務として勤務しました。

20代で結婚・出産後は専業主婦になるも、父から声をかけられて家業へ入社。当時の会社は、請求書や伝票などすべて手書きでした。そこで市川さんはワープロやパソコンを導入し、少しずつ社内のIT化を推進していきます。

創業50周年を機に弟の亮夫さんが社長となり、二人で会社を支える中で、施工図の作成や現場管理にも対応できるよう、二級建築士の資格を取得。CADによる図面作成や現場監督など、現場にも関わるようになりました。

現在は、自衛隊勤務を経て入社した長男も加わり、三代目承継に向けた動きも始まっています。見積管理や施工写真の共有など、社内のDX化もさらに進みました。

ただ、市川さん自身は「自分が引く張るタイプではない」と話します。「分からないことは、『教えてください』って周りをお願いしてきたんです」社員同士で支え合いながら“最高のチーム”を目指す現在の組織づくりにも、そうした市川さん自身の歩みがつながっています。

30周年を、
次の世代へつなぐために

同社と八戸法人会との関わりは、父の代から続いていました。ただ、市川さん自身が実際に活動へ参加するようになったのは6年ほど前。知人に声をかけられ、女性部会へ参加したのがきっかけです。

「最初は本当に何も分からなくて『教えてください』からのスタートでした」

周囲に支えられながら活動をし、その後、女性部会長に就任しました。



会社社屋外観

現在、女性部会では来年度の設立30周年に向けた準備が進んでいます。今年度には、税に関する絵はがきコンクール全作品の展示や、県女連協研修交流会の主管など、新たな事業も予定されています。

近年は若い世代の活動も活発になり、市川さん自身も「頼もしい」と感じているといいます。一方で、活動続けるほど、「今こうして活動できているのは、先輩たちが積み重ねてくれたおかげなんだ」と実感する場面も増えたそうです。

「若い世代からOGまで揃って30周年をお祝いできたら、きっと、その先の未来にもつながっていくと思うんです」

また、税務や経理について学べる勉強会も構想中です。コンセプトは「今さら聞けない」ことをオープンに聞ける会。「女性は経理を担当している方も多いので、困りごとや経験を共有できる場になれば」と話します。

会社でも女性部会でも、市川さんが目指しているのは、“人が集まり続けられる場所”なのかもしれません。



有限会社 工藤板金工業

【創業】 1962年(昭和37年)
【事業内容】 屋根・外壁・雨樋・雪止め工事／ステンレス各種製品加工
【所在地】 〒039-1161 八戸市河原木北沼22-17
【電話番号】 0178-29-1855

8回目の給与計算・社保実務講座



講師の竹山文氏

5月12日、八戸商工会館にて経営セミナー「給与計算実務と社会保険手続きの進め方講座」を開催しました。毎年好評を得ている本セミナーは今回で8回目を迎え、会員・非会員企業より35名が参加。初回から継続して講師を務める竹山文社会保険労務士（東京）が、社会保険制度の基礎から、給与計算や入退社時の手続きなど実務に欠かせない内容を分かりやすく解説しました。今回は、子ども・子育て支援金制度など近年の法改正にも触れながら、健康保険・厚生年金の仕組みや各種手続きについて説明。受講者は資料を確認しながら熱心にメモを取り、日々の実務に役立つ知識の習得を図っていました。



チェックシート活用で税務トラブルを予防

5月22日、八戸商工会館で税理士セミナー『『自主点検チェックシート』を使っていますか？ ～税務トラブルを防ぐ会社づくりとこれからの税務調査への対応～』を開催しました。講師は根津則克税理士（八戸市）。根津氏は40年以上にわたり東京・八戸の税務署に勤務し、主に法人税業務を担当してきた経験を持ちます。



講師の根津則克氏

セミナーでは、企業の経理体制や税務処理を確認する「自主点検チェックシート」の記入ポイントや活用事例などを解説。今年9月に国税庁が導入予定の新基幹システム「KSK2（次世代国税総合管理システム）」についても触れ、税務調査の高度化が見込まれる中、「企業の税務リスクを軽減する“防御ツール”としてシートを活用してほしい」と参加者に呼びかけました。

令和8年度第1回親睦交流ゴルフ大会結果報告

令和8年5月16日（土） ニュー軽米カントリークラブ
参加者／46名 懇親会参加者／30名

優勝／庭勝也（㈱庭板金工業）
準優勝／類家徳昌氏（㈱類家大学堂薬局）
ベストグロス賞／
柴田智郎氏（SSシバタ産業㈱）
レディース部門優勝／
大塚 智愛子氏（大同生命保険㈱）

第2回親睦交流 ゴルフコンペのお知らせ

開催日／令和8年10月18日（日）
場 所／八戸カントリークラブ

※申込書は、今般の「やっほー」に同封しております。



横町会長と優勝の庭勝也氏

八戸法人会からのお知らせ

法人会「年会費」口座振替 （八戸地区のみ）について

令和8年度の年会費口座振替日は、
7月27日（月）です。

今回の「やっほー」に年会費口座振替チラシを同封しておりますので、ご確認ください。ご不明な点、ご質問は、事務局へご連絡ください。

☎0178-45-0107 FAX 0178-45-2419



特別講演会のご案内

■開催日 令和8年9月4日（金）
■場 所 プラザアーバンホール
■講 師 落語家 林家 木久彦

■テーマ しょうらいのゆめ
「笑來の夢」
講演+落語形式
■時 間 18:00～19:20

申込方法は、同封チラシをご覧ください。

税理士コラム

「納税」は自己資本を増やすための必要なコストです

税理士法人 つばさ会計 税理士 下山 貴章

昨年から、各種「創業支援セミナー」に携わらせていただく機会が増えました。セミナーの冒頭、受講者の皆様へお伝えするのは、「地元青森県で創業を決意頂いたことに深く感謝申し上げます」という言葉です。青森県の社会減・自然減のダブルパンチによる人口減少対策が課題である現状の中、地元で創業を考え、地域の活性化・地域の雇用のためご活躍いただく若い力は、まさに「未来の青森県の宝」であると思っております。

創業支援セミナーでは、事業を長く繁栄させていただきたいことから「単年度収支計算のポイント」をお伝えするようにしています。安定した経営を目指す上では、「起業時の資本金に毎年利益剰余金を積み増しし、会社の資金を増やしていく（自己資本比率を30%まで上昇させる）」ことを目標にして欲しいということです。そのためには、「納税」を避けることはできません。

会社の資金を増やすには、①借入金を増やす、②資本を増資する、③利益を計上し法人税等を納税した後、利益剰余金として積み上げる、この3つの方法しかありません。

貸借対照表		自己資本比率	損益計算書	
総資産	他人資本（負債）		製造原価 一般管理費	収入 売上
	自己資本（資本金）		税引前純利益 （法人税等・納税）	
	（繰越利益 剰余金）		（税引後 純利益）	

簡単な単年度収支計算のポイントとしてセミナーでお伝えする時は、次のようなお話をしています。

例えば1年間の収支を考えたとき（少し極端な例ですが）、
●「A」は利益に課税された税金を納税し、更に1年分の借入金返済額を差し引いてもなお、現預金を125万円増やすことができました。

●「B」は借入金返済資金がまだ預金に残っていることだし、税金を払うよりはと更に250万円の経費を使い、結果1年間で現預金を62.5万円減らすこととなりました。仮にこの状況が毎年続けば、借入金を完済出来ても自己資金の増加は乏しく、再び借入を申し込むこととなるでしょう。

（減価償却費 200万円計上後の）	A	B
①当年利益	3,000,000	500,000
②住民税・法人住民税等	-750,000	-125,000
③減価償却費戻し	+2,000,000	+2,000,000
④借入金返済額	-300,000	-300,000
⑤現預金増減額	1,250,000	-625,000

※③の減価償却費は、現金の支出が無い経費であるため収支計算では加算します。
※創業資金2千万円を7年返済で借入したと仮定します。

長く安定した経営を続けるためには「納税」し、毎年現預金を増やす（自己資本比率の上昇を図る）ことが大切です。平常時はよくても、不慮の災害や経済危機が起きた場合、当面の資金繰りに心配すること無く経営に専念できる水準としては、自己資本比率30%以上が必要と考えています。

しっかり納税することも意識して、「強い会社」を目指しましょう。税理士は、税金を安くしてくれるものと思われがちがありますが、決してそれだけではないことをご理解いただければ幸いです。

税務署からのお知らせ

国税庁では、令和3年7月から、複数の税務署の内部事務を専担部署（業務センター）で集約処理する「内部事務のセンター化」を実施しており、令和8年7月10日以降は、全ての税務署が対象となります。

八戸税務署を担当する業務センターは、盛岡業務センターとなりますので、次の事項について、ご理解とご協力をお願いします。

- 申告書、申請書等の書面による提出先
こちらへ郵送 → 〒020-0866 盛岡市本宮2丁目1-3 仙台国税局 盛岡業務センター
- e-Tax（データ）による提出先
「八戸税務署」を選択
- 八戸税務署総合窓口の変更
令和8年7月6日以降、庁舎2階に移動 ※エレベーターをご利用ください。
- エントランスに設置していた「用紙コーナー」の廃止
申告・申請等の税務手続は、簡単・便利なe-Taxをぜひご利用ください。

【問い合わせ先】 八戸税務署 ☎0178-43-0141